

●工事状況

免震装置の据付工事が始まりました。免震装置の据付は高い精度が求められ、建物の品質に直結する、特に重要な工事のひとつです。さて、免震装置を終えると地下の躯体工事が一旦の区切りをむかえ、地上の躯体工事もあり、現場の様子がより変化していきます。350tのタワークレーンも仲間入りする予定で、一層現場がにぎやかになっていきます。

重機の数も増え、新たな工事も始まるため、さらに高度な作業間調整が必要となります。それぞれの工事がスムーズに進むことは建物の高品質化につながるため、綿密な調整を心がけていきたいです。

定点写真



●壁の向こうは・・・？（工事紹介）

最近ニュースなどで目にすることも多くなってきた、『免震』についてです。

免震構造とは、地震の揺れが直接建物に伝わらないようにした構造です。それを可能にするのがゴムを積層して制作されている、『免震装置』です。143基あるなかでも3種類あり、それぞれ動きが少しずつ違います。今回写真でご紹介するのは『高減衰ゴム系積層ゴム』です。高い減衰機能を有しているため、建物だけでなく、内部の精密機器等への免震効果を期待できます。内部に多くの精密機器が設置される医療施設では重要になる装置です。

免震装置



●工程

令和3年度

		9月	10月	工事進捗率
上部躯体工事		小梁・犬走りPCI工事・大梁地組工事		
基礎工事	北	ビット工事		
	南	免震基礎・免震外壁工事・免震装置据付		
設備工事		設備外構先行工事（井戸・各種引込等）		

●コラム《VR内覧会》

病院内のレイアウトは、医療従事者の皆様の使い勝手に大きな影響を与えます。例えば、病室の各種コンセントや照明スイッチの位置は看護しやすい位置にあるか？医療用ガスは種類ごとに必要数用意されているか？等、考慮すべき点は無数にあります。

新病院棟では、最新技術としてVR（ヴァーチャルリアリティー・仮想現実）を用いて疑似的にレイアウトを再現し、医療従事者の皆様に体験していただくことで、病院の使い勝手を確認することとしました。医療従事者の皆様にとって使いやすく、そして患者様が適切な治療を受けることができるような病院とすべく、引続き努めてまいります。



VR内覧会実施しました